

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	商学概論 I
科目基礎情報					
科目番号	0014		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	片岡寛(ほか編) (2017) 『ビジネス基礎 新訂版』実教出版.				
担当教員	松原 義弘				
到達目標					
現代社会における経済活動と流通のあり方について、体系的な理解を深める。 身近なモノやサービス、流通について分析し、これに関する自分の見解を述べられるようになる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	経済活動と流通のあり方について、幅広く説明できる。	経済活動と流通のあり方について、その一部を説明できる。	経済活動と流通のあり方について、説明できない。		
評価項目2	身近なモノやサービス、流通について、自分の見解を十分に述べられる。	身近なモノやサービス、流通について、不十分ながらも自分の見解を述べられる。	身近なモノやサービス、流通について、自分の見解を述べられない。		
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 1					
教育方法等					
概要	本講の目的は、現代社会における商品のあり方を体系的に理解することにある。産業や消費生活の変化に伴う商品の多様化などについて考察する。 なお、この科目は、自治体で官民連携に関する業務を担当していた教員が、その経験を活かし、経済を構成する「企業・家計・政府」の幅広い観点から、講義形式で授業を行うものである。				
授業の進め方・方法	講義形式で行うが、視聴覚教材やグループワークを交えて実施する。また、基礎的学力を補うためスタディサプリによる宿題を課す。				
注意点	本講では、受講生の積極的な発言や意見交換を期待する。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を60点とする。評価方法と評価基準は、本試験に準じる。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、経済と流通の基礎 (1)	「商学概論 I」の目的、経済の仕組みとビジネスについて、理解できる。	
		2週	経済と流通の基礎 (2)	経済活動の基本的な考え方について、理解できる。	
		3週	経済と流通の基礎 (3)	社会の変化とビジネスの発展について、理解できる。	
		4週	経済と流通の基礎 (4)	流通の意味と役割について、理解できる。	
		5週	経済と流通の基礎 (5)	流通を取り巻く環境の変化について、理解できる。	
		6週	ビジネスの担い手 (1)	モノの生産者、サービスの生産者について、理解できる。	
		7週	ビジネス事例研究 (1)	経済の仕組みとビジネスについて、具体的事例に沿って理解できる。	
		8週	中間試験	第1～7回の学習内容	
	2ndQ	9週	グループワーク (1)	ある特定の研究テーマ (流通) について、情報収集・調査できる。	
		10週	ビジネスの担い手 (2)	小売業の役割と種類について、理解できる。	
		11週	ビジネスの担い手 (3)	卸売業の役割と種類について、理解できる。	
		12週	ビジネスの担い手 (4)	物流業の役割と種類について、理解できる。	
		13週	グループワーク (2)	ある特定の研究テーマ (流通) について、資料作成・発表できる。	
		14週	ビジネス事例研究 (2)	経済の仕組みとビジネスについて、具体的事例に沿って理解できる。	
		15週	期末試験	第9～14回の学習内容	
		16週	成績確認	答案返却、解説	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	レポート	宿題		合計
総合評価割合	70	20	10	0	100
基礎的能力	50	10	10	0	70
専門的能力	20	10	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0